



に い が た
県電だより

〈 新 春 号 〉



『 冬 の 訪 れ 』

撮影場所・撮影日／村上市北新保地内 平成26年11月

【コメント】

「県北の白鳥の湖」として知られる村上市の大池には、毎年10月中旬から200羽ほどの白鳥が飛来し、翌年の4月中旬ころまで、早朝や夕方には湖面に翼を休ませる光景を楽しむことができます。白鳥とともに、今年も冬が近づいてきます。

撮影者／新潟県電気工事工業組合 村上支部
有限会社東栄電工 金子 謙一 氏

表紙写真紹介

新潟県電気工事工業組合



目次

1. 年頭のご挨拶	1
2. 平成27年度 消防関係試験実施計画（案）	5
3. 地域懇談会を開催	11
4. 平成26年度「事業承継・相続税研究セミナー」を開催	12
5. 第1回電気工事技能競技全国大会に参加	13
6. 各支部だより	16
7. 各青年部だより	19
8. 各種表彰	24
9. 第一種電気工事士定期講習の開催について	25
10. 組合員の異動・変更	26
11. 組合の保険って?! 「全日電工連 グループ共済制度」	27

【表紙写真募集】

- ・県電だより年間発行予定：1月1日、4月1日、7月1日、10月1日（年4回発行）
- ・写真の現物あるいはデジタルカメラで撮影したデータを、発行日の1ヶ月前までに下記までお送り下さい。

記

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通6番町1203 新潟県電気工事工業組合 TEL 025-229-4101

ダイヘンは、その関係する人々との信頼を大切にし、
常に新しい価値の創造を行うことによって、
健全な成長を目指すとともに、社会の発展に貢献します。

DAIHEN **ダイヘンヒューズ株式会社**

〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央4丁目7番地7
株式会社ダイヘン東北支社内
TEL 022(218)1377 FAX 022(218)0621

関連会社：**ダイヘン青森株式会社**

〒036-8073 青森県弘前市大字岩賀1丁目5番地の1
TEL 0172(37)5604 FAX 0172(37)5603

年頭のご挨拶



2015年 年頭挨拶

理 事 長
小 林 功

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃は当工組の事業運営に格別のご協力を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみれば、降って湧いた様な年の瀬の衆議院選挙で一年の幕を閉じました。有権者は引続き自民党安倍政権のもとで進められてきた経済政策を選択しましたが、4月の消費税増税後は個人消費が低迷し、とりわけ地方の消費の不調が顕著となっております。回復にはいましばらくの時間が必要なのが現状です。今年の世相を表す漢字には「税」が選ばれました。4月から消費税が17年ぶりに8%に引き上げられたこと、10%の引き上げが議論されたこと、また、政治家と税に関わる問題が話題となったことが主な理由でもありました。消費税に振り回された一年であった感が、否めません。

また、昨年は多くの異常気象や自然災害に見舞われた年でもありました。2月には埼玉・山梨を中心に記録的な豪雪となり、物流が止まり食料・燃料が不足する事態となりました。8月には広島で継続的な豪雨から大規模な土砂災害が発生し、74名が犠牲となりました。9月には御嶽山が噴火し、火山災害では戦後最多となる57名が犠牲になりました。また、7月から10月にかけては大型台風が立て続きに上陸し、猛威を振るいました。そして、11月には震度6弱の地震が長野県北部を襲い、幸いにも死者は出なかったものの、多くの建物が倒壊しました。まさに、自然災害の当たり年とでもいうべき一年でした。

昨年6月の通常総代会におきまして、平成3年以来22年振りとなる役員並びに総代定数の見直しを行いました。理事定数については定数の上限を実数に合わせるため、監事定数については欠員時を考慮し幅を設けるため、総代定数については組合員数の減少に応じて、それぞれ変更いたしました。また、組合事業の迅速かつ公正で透明性の高い執行を図るため、役員のうちから常務理事を選任して、理事会提出議案について事前審議を行う常務理事会を設置いたしました。今後とも、その時々に合わせて組合組織の在り方について、検討を行ってまいります。また、「組合員にとって、今、何が最も必要か、真のニーズは何かを十分に検討し、みんなが幸せになれる業界を目指して」、それぞれの委員会で事業を展開してまいりました。

総務委員会では、当工組としての重要課題であるとの認識のもとで、「脱退時の持分払い戻し算定」を見直して組合財務の健全化を図ること、並びに、新規加入促進策の一環として、加入時の負担軽減を目的とした「加入者の出資金等納入額」の見直しについて検討を重ねてまいりました。

経営企画推進委員会では、お客様からの信頼向上のため、第三者損害賠償制度の工事対象期間延長特約を利用した、10年補償について検討を行ってまいりました。また、組合員の皆様に事業継承の現状及び相続対策についての知識を身に付けていただくため、新規セミナーとして「事業継承・相続税研究セミナー」を開催いたしました。

技術委員会では、作成時から相当の期間が経過し劣化が激しくなっている安全衛生カレンダーを新たに作成し、組合員の皆様に配布ご活用いただくこととし、これに併せてカレンダーに掲載する「安全衛生標語」を募集いたしました。また、新潟県より受託いたしました電気工事士免状交付等事務につきましては、滞りなく事務を取扱うことができ、当組合の社会的地位並びに認知度の向上に資することができました。

引込線事業委員会では、毎年開催している引込線工事作業訓練について、受講者のレベルに合わせ訓練内容を充実させるため、昇降柱訓練と基礎訓練に分けて開催いたしました。また、引込線関連情報が円滑に支部へ伝達・共有化される体制の構築について、技術委員会とともに検討を重ねました。

さて、いよいよ三段階で進められる電力システム改革では、その一段階として本年度をめぐりに広域系統運用機関を設置するスケジュールとなっています。これは、東日本大震災や原子力事故を契機に、従来の電力システムの抱える様々な限界が明らかになったことから、地域ごとに供給力を確保する仕組みではなく、広域的な系統運用を拡大して発電所を全国レベルで活用する仕組みに変えようとするものです。電力システム改革は電気事業者自らの問題ですが、お客様に「安全」と「安心」を提供していくという業界としての使命を果たしていくため、その内容について意見を述べてまいりたいと考えております。

今後の電力システム改革の進展については、まだまだ紆余曲折があるものと思われませんが、「万人は一人のため、一人は万人のため」という協同の精神を基本に据えて、組合事業運営に取り組んでまいり所存であります。

総務委員会では、将来にわたって組合員のための事業を円滑に実施し、それを支える健全な

財務を維持していくため、「脱退時の持分払い戻し算定」並びに「加入者の出資金等納入額」の見直しについて、組合員皆様にご理解いただけるよう引続き検討を行ってまいります。また、組合員の新規加入推進方策の一環として、将来の業界を担っていく若手入職者を確保するために、電気系コースを履修する学生に対して業界の魅力をPRし、就職選択肢の一つとして考えてもらうための企画として、「電気系コース高校生との交流事業」を県青年部との共催で実施してまいります。

経営企画推進委員会では、組合員のニーズを捉えた人材育成に関するセミナーを開催いたします。また、引続き福利厚生制度の充実を図るため、全組合員へ保険カルテを配布し、各種保険加入の見直しに役立てていただくこととしております。

技術委員会では、組合員の労働災害防止意識の向上に資するため、応募いただいた安全衛生標語を掲載した安全衛生カレンダーを配布いたします。また、労働安全衛生関係講習会並びに技術講習会を鋭意開催するとともに、電気工事士免状交付等事務につきましては、適正に取扱ってまいります。

引込線事業委員会では、本年度から開始されるスマートメーターの取付けを始めとして、仕事量の確保・拡大のための取組みを行ってまいります。また、危険予知訓練、引込線工事作業訓練等の受講希望に応え、内容の充実を図るため、インストラクターの増員を図ってまいります。

終わりに、日頃お世話になっております関係諸官庁・諸団体、並びに東北電力(株)の皆様へ、今後とも益々のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、組合員皆様のご隆盛とご健勝を心からお祈り申し上げて、年頭のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

2015年 年頭のご挨拶

新潟県知事

泉田 裕彦

2015年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年は、2月に開催されたソチオリンピックにおいて、本県から3人のメダリストが誕生するという嬉しいニュースから1年が始まりました。

本県が実施してきた「新潟から世界へ夢プロジェクト事業」の対象者も含まれており、世界に羽ばたく選手を育成する取組が一定の成果を上げたものと、大変喜ばしく感じております。

また、新潟地震から50年、新潟焼山噴火から40年、そして7.13水害、中越大震災から10年という、大きな節目の年でもありました。被災された方々の様々な思いに触れ、県民の皆さまの生命、安全、財産を守る気持ちをより一層強くするとともに、これまでのご支援に対する恩返しの意味でも、新潟の知見や教訓を広く発信し、各地の復興の取組や災害への備えに貢献していきたいと改めて感じたところです。こうした中、6月には、天皇皇后両陛下にご臨席賜り、中越大震災の被災地を会場として「第65回全国植樹祭」を開催致しました。本県にとって、この大会はまさに復興から新たな未来の創造へのシンボルであり、震災から復興した新潟の姿は、東日本大震災からの復興の希望としても見ていただけたのではないかと感じております。

さて、経済動向に目を向けますと、昨年4月の消費税率引上げ以降、実質国内総生産が2期連続マイナスとなるなど、消費税増税が日本経済に大きな影響を与えていることが窺えます。輸出型の大企業では業績改善の動きが見られるものの、地方においては景気回復の実感が乏しい現状にあり、多くの中小企業では原材料価格の上昇等による収益の悪化も懸念されてい

ます。また、一部業種においては人材不足等の経営課題を抱え、今後の企業活動の阻害要因となることも懸念されております。こうした状況を踏まえ、県としましては、経営面でのセーフティネット対策に万全を期した上で、中小企業が多い本県の経済構造を踏まえたきめ細かな施策の展開に努めて参ります。

一方、昨今では再生可能エネルギー・省エネなどに対する社会的要請が高まっており、関連分野における需要拡大が期待されるところです。

こうした状況のもと、貴組合では、環境の変化に対応した新たな事業に積極的に取り組まれており、県内での家庭用太陽光発電の導入促進を図ることを目的として、県が創設した「家庭用太陽光発電導入促進事業」を実施していただいていることに加えて、異業種連携により発足した「新潟県太陽光発電導入促進協議会」でも事務局として、ご尽力いただいているところです。

再生可能エネルギーの普及促進に取り組む県といたしましては、これまで以上に貴組合から多大なるご理解とご協力をいただいておりますことに、この場をお借りいたしまして深く感謝申し上げます。

今後も、これまで育んだ技術力と貴重な経験をもとに時代の要請に応えながら、優れた技術集団として、大きく飛躍されることを期待いたしますとともに、保安の確保、人材の育成、経営基盤の強化などに努められ、県民生活の安心・安全を担う機関として、引き続きご尽力くださるようお願い申し上げます。

終わりに貴組合のご発展と皆様のご多幸をお祈りしまして、新年のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶

2015年 年頭のご挨拶

東北電力株式会社 上席執行役員 新潟支店長

坂本 光弘

あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、当社事業につきまして格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

さて、未曾有の被害をもたらした東日本大震災から早いもので丸4年を迎えようとしております。

当社は、この地震と津波による被害を教訓として、原子力発電所をはじめ、送電ネットワークや変電所設備のより一層の信頼性、安全性の向上に向けた対策を進めているほか、火力発電所の運転調整等による需給対策を実施し、日々、電力の安定供給に努めております。

今冬につきましても、一定の供給予備率を確保できる見通しであり、安定供給に万全を期してまいります。皆さまにおかれましても、引き続き、無理のない範囲での節電にご協力いただきますようお願い申し上げます。

<電力の安定供給を通じた地域発展への貢献>

当社は、東日本大震災や新潟・福島豪雨により、甚大な設備被害が発生いたしましたが、早期復旧を目指し企業グループ一丸となって全力で取り組んでまいりました。

これにより、被害設備についてはほぼ復旧を果たすとともに、需要と供給の両面での各種対策を積み重ねた結果、厳しいながらも電力の安定供給を維持することができました。

当社は創業以来、「地域の繁栄なくして、当社の発展なし」という考えのもと、社員一人ひとりが「電力の安定供給を通じて地域の発展に貢献していく」という使命感をもって日々の業務に取り組んでおり、これからも地域とともに成長できる企業を目指してまいります。

<事業環境の変化に対する取り組み>

東日本大震災以降、電気事業を取り巻く環境は大きく変化いたしました。今後は、2016年を目途に、電気の小売全面自由化が予定されており、本格的な競争の時代に入ることとなります。

こうした中、東日本大震災や新潟・福島豪雨の影響で甚大な設備被害を受けたことにより、収支・財務状況は著しく悪化しており、今後5年間で「経営基盤回復期」と位置付け、自己資本比率について15%以上（H26/9月末：12.7%）を達成することを財務目標に設定し、聖域なきコスト構造改革と新たな価値の提供による収益拡大を通じた財務体質の回復を最優先に取り組むこととしております。

<お客さまの省エネルギー・省コスト実現に向けた提案活動>

当社は、省エネ・省コストへの実現に向けた電化システムのご提案などを通じて、お客さまのエネルギーに関する課題解決に取り組んでいます。

家庭用、事業用それぞれで、環境性・省エネ性に優れたヒートポンプ等の高効率電化システムの提案を行なっております。

貴組合の皆さまとの連携強化によって、より一層の普及拡大に努めてまいりたいと考えておりますので、今後ともご協力をいただきますようお願い申し上げます。

<ゼロ災害に向けて>

一昨年7月に発生した、梯子からの墜落死亡災害については、まだ記憶に新しい重大災害です。本災害は梯子使用における基本ルールが

省略されたことで死亡に至ったものです。人は慣れてくると省略行為がエスカレートし、そうしたことが基本になってしまう面があるようです。基本ルールを確実に実行することを徹底しゼロ災達成を目指してまいりますのでよろし

くお願いいたします。

終わりに、貴組合の皆さまにとって幸多き一年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

以上

平成27年度 消防関係試験実施計画 (案)

(一財) 消防試験研究センター 新潟県支部

1. 危険物取扱者試験実施計画

(1) 試験日、受付期間、試験の種類及び試験場所

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
H27. 6. 6 (土)	H27. 4. 19 (日) ～ 5. 5 (火)	H27. 4. 22 (水) ～ 5. 8 (金)	甲種 第1～6種類 乙種 丙種	新潟市 長岡市 上越市 佐渡市
H27. 8. 30 (日)	H27. 7. 12 (日) ～ 7. 26 (日)	H27. 7. 15 (水) ～ 7. 29 (水)	甲種 第1～6種類 乙種 丙種	新潟市 長岡市 上越市 新発田市 三条市
H27. 11. 22 (日)	H27. 10. 4 (日) ～ 10. 19 (月)	H27. 10. 7 (水) ～ 10. 22 (木)	甲種 第1～6種類 乙種 丙種	新潟市 長岡市 上越市
H28. 3. 5 (土)	H28. 1. 10 (日) ～ 1. 24 (日)	H28. 1. 13 (水) ～ 1. 27 (水)	甲種 第1～6種類 乙種 丙種	新潟市 長岡市 上越市

2. 消防設備士試験実施計画

(1) 試験日、受付期間、試験の種類及び試験場所

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
H27. 6. 20 (土)	H27. 5. 5 (火) ～ 5. 19 (火)	H27. 5. 8 (金) ～ 5. 22 (金)	甲種 第1～5類 乙種 第1～7類	新潟市 長岡市 上越市
H27. 10. 18 (日)	H27. 8. 30 (日) ～ 9. 13 (日)	H27. 9. 2 (水) ～ 9. 16 (水)	甲種 特 類 甲種 第1～5類 乙種 第1～7類	新潟市 長岡市 上越市
H28. 3. 12 (土)	H28. 1. 24 (日) ～ 2. 7 (日)	H28. 1. 27 (水) ～ 2. 10 (水)	甲種 第1～5類 乙種 第1～7類	新潟市 長岡市 上越市

(一財) 消防試験研究センター 新潟県支部

※受験願書、免状の書換え申請書は、支部及び県内の消防署で3月中旬頃から配布をする予定です。
※詳細については、下記にお問い合わせ下さい。

〒950-0965 新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ 7階703号

TEL 025-285-7774 FAX 025-211-7011 <http://www.shoubo-shiken.or.jp>

年頭のご挨拶

組合組織の改革に向けて

総務委員長

本山 秀 樹

新年明けましておめでとうございます。新春を迎え、皆様には穏やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年末には衆議院の解散、総選挙が行われ与党が圧勝し、安倍内閣が推し進めるアベノミクスが信任されるという結果になりました。円安、株高の効果もあり製造業を中心に緩やかではありますが順調な景気回復基調にあるように思いますが、私達電気工事業界では、消費税増税前の住宅建設の駆け込み需要により、その後の反動減が顕著でありますし、円安による原材料費の高騰は中小企業の経営を圧迫しています。中小企業対策、地方活性化対策など矢継ぎ早の政策の実施が求められます。

さて、東日本大震災後、今なお全国の原子力発電所は発電を停止したままであり、節電、電気エネルギーのあり方など私たち業界、組合を取り巻く環境は、大変厳しいものがあります。「安心、安全」な電気の供給のあり方を考えつつ、強い組合組織の構築に向け、その方向性を総務委員会として検討していきたいと思っています。

一昨年からは組合組織のスリム化、組合活動の活性化に向け具体的な項目について総務委員会として検討してきました。昨年は、総代数、理事定数の見直しを行い総代会で定款の一部変更

を行いました。組合新規加入要件の緩和は、退会時の出資金払い戻し要件の変更とセットであると考え定款の一部変更も必要であり今年の定期総代会に提出できるよう組合員皆様の同意を得つつ総務委員会として鋭意努めてまいります。

恒例の三役、総務委員会と各支部の地域懇談会を昨年は、長岡支部と柏崎支部で開催しました。さまざまな問題、組合活動にご意見、ご質問を頂き感謝申し上げます。その中でも問われた工業高校新卒者の雇用について今年は、総務委員会と青年部共催で柏崎工業高校電気科生徒との組合説明会を開催し電気工事業界のPRを行い電気工事業界への雇用の促進に繋がるよう努めてまいります。

最後になりましたが、総務委員会の活動として県工組市町村議員協議会との懇談会を毎年開催しています。顧問の佐藤、塚田両参議院議員様、相談役の市川、高倉両県会議員様を交えての懇談会ですが、電工の公共工事設計労務単価を全国平均並に引き上げていくことや若手技術者の定着、育成など業界を取り巻く諸問題は多々あります。県工組政治連盟としての意見具申を三役と供に積極的にして参りたいと思っています。今年もまた組合員皆様のご協力をお願い申し上げます。今年もまた組合員皆様のご協力をお願い申し上げます。皆様の益々のご健勝をご祈念申し上げます。



年頭のご挨拶

足元固めつつ 新しい道に挑戦

経営企画推進委員長

兼 古 清

新年あけましておめでとうございます。

長岡 (有)ミドリ電気兼古でございます。

日頃は当委員会の運営に御理解・御協力を頂きまして深く感謝御礼を申し上げます。

委員長の任期2年間の最後の年となりました。任期いっぱい一生懸命務めさせて頂きますので今年も宜しくお願い致します。

皆様御承知の通り当委員会は3部会で構成されております。

「保険部会」「セミナー部会」「エコ研究部会」であります。各部会とも組合員さんのためになる活動を、そしてその動きが皆様方から見える活動である事を目指しております。

「保険部会」においては、今期初めから組合員と非組合員との差別化を目的として取り組んできました「施工工事の長期保償」についてその証書の発行が実現する事となりました。当初の目標をすべて果たしたものとは言えないかも知れませんが、ようやく形にする事が出来、対象の組合員さんには近々お届けする事が出来る事となりました。

又、各種保険に関しても時代の変化に対応した、組合員さんの有利になる、全国規模の組合スケールメリットを生かしたお得な商品を提案し続けていきたいと思っております。

「セミナー部会」におきましては、例年開催してきました各種セミナーの他に、新たに後継者問題に対処すべく「事業承継・相続税研究セ

ミナー」を開催する事が出来ました。この種のテーマのセミナーは単年で終わる事なく継続して開催していく活動であるにとらまえております。人材育成を目指した各種セミナー・現場でのレベルアップを目指した各種セミナーについても今まで以上に一層力を入れてまいります。

又「エコ研究部会」においては、年間を通じて一番大きな部会活動であります3月に開催予定の「製・販・工懇談会」において(一財)省エネルギーセンター鈴木課長をお迎えして「省エネ法改正とビジネスとの接点整理」と題して講演して頂く事が決定しております。そこで私達がこの機会に、今すぐ挑戦すべき新しいビジネスのヒントを頂ける有意義な会にしたいと準備をしておるところでございます。

いずれにしましても当部会の以前からの大きなテーマは、現在のお仕事を大切にしつつも新しい道を切り開く「提案技術営業」を組合員の皆様方と共に推し進めて行く事である、と考えて活動してきております。

各部会共“組合員さんのためになる事をする”という事を基本と考えて活動していくつもりであります。

今年も組合員の皆様方と共に、楽しく！ 元気に！ 働く事が出来、そして幸せな一年になります事を願いまして新年の挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

省エネと社会貢献

技術委員長

齊藤 隆



謹んで新年のお喜びを申し上げます。

皆様方におかれましては、清々しい新年をお迎えの事と、心よりお喜び申し上げます。

技術委員会もお陰さまで、皆様の御理解、御協力によりスムーズに事業運営をさせて頂いている処で有ります。今年度は特に、安全を全面に打ち出した活動に成っております。KYTの講習会は、昨年度は新潟一会場でしたが、今年度は長岡会場を一つ増やしました処、約倍の130名の参加を頂きました。事業主の皆様の安全に対する意識の高さに改めて、敬意を表する処で有ります。このような事業主の皆様の問題意識の高い事業案件は、1か所だけでなく2～3か所に予算の出来る限りの会場を設け、多くの皆様に参加しやすい様にして行かなければ成らないと、強く感じている処で有ります。

2月下旬～3月上旬に電気工事技術者の為の安全講習会「失敗事例から学ぶ事故防止対策」、第三者損害賠償制度における事故事例を基に、電気工事技術者としての安全対策と注意喚起を促す目的で、新潟、長岡二会場で開催します。是非多くの皆様から参加をして頂きたいと思えます。「安全はすべての事柄に優先する」です。

今年は、燃料電池自動車元年と言われております。日本、アメリカ、欧州の自動車メーカーが3ブロックに分かれ、技術提携を昨年行われま

した。10年位前燃料電池車は日本のホンダ、トヨタに2車種存在しました。今までは水素は水、天然ガス、プロパン、メタンガス等色々な物から作れるが、コストが掛かり又、貯蔵するには危険なものとされてきました、それが突然メーカー同士の技術提携です。水素ステーション等のインフラを進めるとしています。世の中は凄いスピードで変化しているのだなと思えます。世界中の自動車メーカーが、電気自動車の航続距離が延びるまで燃料は再生可能エネルギー、水素に決めたことは、CO₂削減取り組むと言うことです。

我々の業界も大きな社会の流れに、遅れを取らぬよう、再生可能エネルギーの太陽光発電、風力発電等、省エネのLED照明など、そしてそれらの商材と、商業電力を組み合わせたスマートグリッド技術（家庭用HEMS）など、新しい電気工事を進めて行き、大手ハウスメーカーの宣伝に負けない技術力を身につけ、地元ビルダーに提案、採用を実現し又、既存の物件にも採用して頂きCO₂削減で、大いに社会に貢献して行かなければ成らないと思えます。我々技術委員会としては、今年も大いに新技術研究、講習会等又、新商材を紹介して行きたいと考えています。

本年も、どうぞ御指導、御協力をお願いを申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



引込線事業の飛躍をめざして

引込線事業委員長

荻 莊 賢 一

新年あけましておめでとうございます。

日頃は、引込線事業に関しまして、多大なご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。昨年を振り返りますと、円安、株高、原油価格の下落、増税の影響など、混沌とした経済情勢にあるように思われます。また昨年末の衆議院選では、引き続き自民・公明の連立政権による安定した政権運営が選択されました。

電力業界に目を向けると、全国の原子力発電所の再稼働問題、電力改革にともなう発送電分離など取り巻く環境は、大きく変革を求められているところであります。我々の身近な話題として、電力メーターは今年1月より、期満交換のタイミングでスマートメーター化されることになっております。更に10月からは、新增設時に取付けられる電力メーターがこれに置き換わります。我々もこの新技術・新分野に関わることができるよう努力して参ります。

この様な環境の中、年度当初より我々の委員会としては、引込線会社協議会の意見を踏まえながら、仕事量の拡大に向けて、関係各位と協議を重ねてまいりました。基本として、我々は各支部に引込線会社を作り地域社会に貢献しております。そこで引込線と名の付くものは総て

我々が工事を行えるよう体制を整えており、この組織をうまく活用して頂けるよう提案しております。電力業界の中で、電気の供給業者として社会的な責任を果たすことが求められているところであります。

また、委員会としては「安全第一」を掲げ、絶対に事故をおこさないということを柱に、「基本を大切に」を実践してまいりました。昨年10月には、中央労働災害防止協会の主催による「全国産業安全衛生大会 2014in 広島」で、「組合のゼロ災活動」の取組について特別報告をさせて頂き、高い評価を頂いたところであります。今年も2月には、「第3回安全大会」を予定致しており、組合一丸となって、安全に対するその思いを共有したいと考えております。

非常に変化の激しい社会環境の中ではございますが、様々な変化に対して、スピーディーで適切な対応を取るために、皆様方の英知をお借りしながらこの厳しい時代を乗り切って参りたいと考えておりますので今後ともよろしく願いいたします。最後になりましたが、皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

平成27年 年頭のご挨拶

青年部会長

品田 史夫

新年、あけましておめでとうございます。

平素、新潟県工組青年部の活動に、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみます。6月の理事総会では三条の志田さんのギターに、久保田副会長の歌、西村局長就任のサプライズで盛り上がりました。

同じく6月に行われた「支部間交流親善スポーツ大会」は、第9回を数え、新津支部の皆様にお世話になり開催しました。盛り上がったソフトバレーボールは、伊藤五泉市長からもご臨席いただき、けが人もなく開催支部の新津支部が優勝、咲花温泉での懇親会も盛り上がりました。

10月の小千谷支部の皆様にお世話になった移動理事会は、スピーチ大会で皆様の苦勞した事、仕事上で…、ユーモア溢れるエピソード等様々な話を聞くことができました。

11月には初開催となった第1回全国青年部会員大会の全国青年部活動表彰では、新潟県は「支部間交流親善スポーツ大会」で東北ブロックの代表としてエントリーし、最終選考に進んだ12団体の中に入り活動発表をいたしました。第1回電気工事技能競技全国大会では、東北ブロックの代表として新潟県から、第一電設工業(株)高野選手の奮闘もありました。

様々な事があった1年でした。年末、押し迫った中行われた衆議院議員選挙は、大方の予想通り自民公明、政権与党の圧勝で幕を閉じました。

今後の安定した政権基盤が構築されると同時に、消費税の1年半の据え置き、その後は確実

に10%への移行を国民は選択した事となります。

さて、県青年部では、組織の在り方、仲間づくり、青年部の活性化、各支部の負担軽減などを考慮し、来期に向け青年部の活動内容の見直しを行っています。内容は以下の通りです。

①理事総会・新年理事会・移動理事会と3回開催されていた理事会の内、**移動理事会**を廃止し、年2回とする。

②県内の各支部青年部会員全員参加による「**新潟県青年部会員大会**」を実施する。

上記は、役員改選期の理事総会に合わせ実施し、移動理事会廃止に伴い行うものである。

③支部間交流親善スポーツ大会を**隔年開催**とする。役員改選がない年に実施する。

以上、上記内容について検討を進めておりますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2020年に開催が予定されている東京オリンピックや、東北地方での震災復興需要の高まりから、建設業を含め、電気工事業の人材不足は、慢性的で深刻な状況となります。我々の取り組む重要な課題として、学生を含む若年者や、電気技術者確保対策を速やかに行ってまいります。

県青年部のモットーは「楽しんでいこー！新潟県青年部」です。新潟県内252人の青年部が楽しめる事業を皆さんと一緒に作っていただければ幸いです。本年もよろしく願いいたします。

地域懇談会を開催

平成26年度の地域懇談会が、長岡支部並びに柏崎支部において開催されました。

地域懇談会は支部組合員と県本部役員が組合事業活動全般にわたる意見交換を行い、各支部の実情・ニーズを把握し、より適切な組合運営を図ることを目的に、総務委員会事業として毎年度二支部を廻って開催されるものです。

懇談会は両会場とも、本山総務委員長の開会、小島副理事長の進行ではじまり、小林理事長より組合の活動状況並びに東北七県電気工事業厚生年金基金、全日電工連国民年金基金の概況等について、担当副理事長並びに各事業委員長より担当委員会、青年部の活動状況等について説明が行われ、その後、支部組合員との意見交換に移りました。

「長岡支部」

10月15日、長岡市のホテルニューオータニ長岡で長岡支部との地域懇談会が開催され、県本部より小林理事長をはじめ三役・総務委員・事業委員長他15名、長岡支部より役員・組合員他31名、合計46名が出席しました。

懇談会では、業界の将来を担う若手入職者の確保のための対応、事業計画達成のための具体的な取組み、電力システム改革に対する組合としての対応、施工証明書発行についての組合員への説明などについて、活発な意見交換が行われました。



齊藤長岡支部長の挨拶

「柏崎支部」

10月30日、柏崎市のメトロポリタン松島で柏崎支部との地域懇談会が開催され、県本部より小林理事長をはじめ三役・総務委員・事業委員長他15名、柏崎支部より役員・組合員他36名、合計51名が出席しました。

懇談会では、組合員の加入推進についての考え、就業者確保のための対応と新入社員教育の取組み、引込線以下工事の仕事量拡充拡大の働きかけ、支部で取組んでいる「でんきなんでも相談所」などについて、活発な意見交換が行われました。



小林理事長挨拶



長岡支部組合員との意見交換



横田柏崎支部長の挨拶

平成26年度 事業承継・相続税研究セミナーを開催

10月2日（木）、長岡新産管理センターにおいて経営企画推進委員会（兼古清委員長）主催の平成26年度「事業承継・相続税研究セミナー」を開催いたしました。

本セミナーは、事業承継をお考えの経営者の方を対象としたセミナーで、組合員各社より41名の方から受講を頂きました。

講師には、あすか中央税理士法人（株）江口経営センターの税理士・行政書士の並木純子様をお迎えし、事業承継の現状やポイント、相続税の改正の概要、また事業承継の事例を具体的に紹介しながら分かりやすくご説明を頂きました。

受講後に回答頂いたアンケートでは、受講者から、「事例を盛り込んでもらい、わかりやすかった。」「資料が見やすく、しかも解かりやすかったので会社に持ち帰り、社長・専務に説明したいと思います。また、並木先生の説明も解りやすく、聞きやすかったです。」「並木先生のセミナーをもう一度お願いします。事例あり、笑いありで飽きることなく良かったです。」等、多くの受講者から大変ご講評の感想を頂きました。



今回、セミナーを開催にあたり、ご協力を頂きましたあすか中央税理士法人（株）江口経営センターの並木様、石原様、またご参加頂きました皆様方、大変ありがとうございました。

経営企画推進委員会では今後とも人材育成に関するセミナーを多数開催していく予定ですので、ご参加いただけますようお願い申し上げます。



Panasonic

美しい光を、多彩なスタイルで選ぶ。

器具



ライトバー

一体型LEDベースライト

iDシリーズ

※ 画像はイメージです。

iDシリーズ
検索

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 関東電材営業部 新潟電材営業所
〒950-2031 新潟県新潟市西区流通センター1丁目1番3号 TEL.025-260-7711

Panasonic LED

Wonders!
by Panasonic

第1回電気工事技能競技全国大会 全国から精鋭30名の選手が出場！

11月29日、全日本電気工事業工業組合連合会（以下、全日電工連）主催、全日電工連技能競技委員会主管による第1回電気工事技能競技全国大会（以下、競技大会）が、東京・両国国技館で開催され、東北ブロック・新潟県工組代表の高野勝治選手（第一電設工業㈱・新潟支部）をはじめ全国から選ばれた精鋭30名の選手が出場し、日頃研鑽した技能を競い合いました。会場には全国の組合員、青年部、御来賓など約1,700名が応援・見学に駆けつけ、当工組からも役員・組合員、青年部、組合関係者など計52名が参加しました。また、競技大会の共催行事として創エネ・省エネ・蓄エネなどの最新技術製品の展示、出展企業各社の新技術・新商材の提案セミナーが開催されるなど、多彩な行事で競技大会は大いに盛り上がりました。

全日電工連では、平成21年10月に開催した第26回電気工事業全国大会（東北ブロック・新潟市）で試行として「技能競技大会東北プレ大会」を開催。その後、検証、検討を重ねた結果、今年度より全国大会と競技大会を隔年で開催することとし、今回が全国大会に代わる初めての競技大会となりました。



会場前にて記念撮影（青年部）



会場となった両国国技館



開会式



会場前にて記念撮影（親会）

第1回目となる競技大会のスローガンは『呼び起こせ、スペシャリストの新たな風！』。開会式は8時40分にスタートし、ステージ上から出場選手30名が一人一人入場。前村隆規会長代行による開会宣言、米沢寛全日電工連会長の主催者挨拶、選手宣誓、中央大学応援団による

エールが送られ、9時40分、斎藤賢実行委員長（当工組理事）のホイッスルで技能競技が開始されました。



競技開始を告げる斎藤賢実行委員長（当工組理事）

競技は技能競技（180分）と学科競技（60分）の総合点で競われ、技能競技は課題に基づき競技パネル（幅1800mm×高さ1800mm）に作品を完成させるという内容。課題は、電気工事の基本的な配管・配線工事に加え、計測ユニット、HEMSコントローラーなど多岐にわたる内容で、当日は事前公表課題のうち、何ヶ所か変更が加えられるなど、ハイレベルな課題となりました。熱戦の中、競技時間の180分間はあっという間に経過し、12時45分、競技終了が告げられると、会場全体から選手全員を称える大きな拍手が鳴り響きました。

17時より表彰式が執り行われ、花元英彰副会長の講評に続き、中野弘伸審査員長（職業能力開発総合大学校名誉教授・工学博士）が審査結果を発表。技能競技の後の学科競技も含めた審



果敢に競技課題に取り組む高野選手（東北ブロック新潟県）



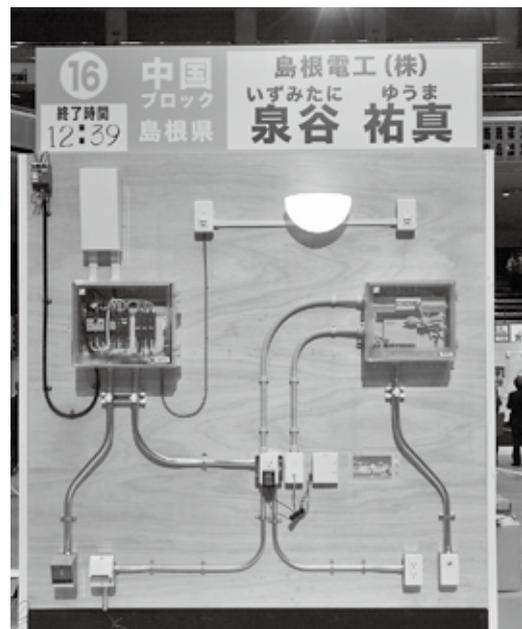
多数の見学者が来場した競技会場

査の結果、見事、金賞に輝いたのは中国ブロック代表の泉谷祐真選手（島根電気㈱・島根県）。泉谷選手には「JAPAN e SKILL CHAMPION」の称号が贈られるとともに、経済産業大臣賞も受賞しました。その後、御来賓挨拶、山野國廣副会長の閉会の言葉で表彰式は終了し、続いて行われた交流会では、終始和やかな雰囲気の中、出場選手や全国の組合員、青年部の皆様との交流を深めることができました。

東北ブロック・当工組代表の高野勝治選手のご健闘に敬意を表しますとともに、今大会の開催にご尽力されました関係者の皆様、大変ありがとうございました。

なお、高野勝治選手には、当工組より感謝状を贈呈させていただくこととなっております。

（感謝状贈呈式の記事は次号掲載）



金賞受賞作品

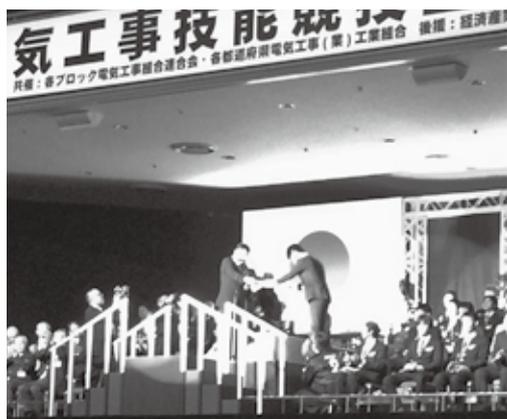


表 彰 式



出場選手記念撮影

第 1 回 電気工事技能競技全国大会 審査結果

金 賞	中国・島根県	泉 谷 祐 真	島根電工 株式会社
-----	--------	---------	-----------

※金賞受賞者には「JAPAN e SKILL CHAMPION」の名誉ある称号が贈られました。

銀 賞	中部・岐阜県	細 江 敏 史	有限会社 細江電気商会
	関東・東京都	相 原 誠	光栄電設工業 株式会社
銅 賞	中国・島根県	内 藤 功 一	大成電気水道工業 株式会社
	北海道	駒 澤 知 三	有限会社 駒澤電気工事
	北陸・福井県	宮 田 豊	谷電
敢 闘 賞	東北・山形県	佐 藤 光	東北電化工業 株式会社
	関西・大阪府	小 谷 忠 司	株式会社 小谷電気商会
	中部・長野県	北 川 大 樹	松島電気工事 株式会社

経済産業大臣賞	中国・島根県	泉 谷 祐 真	島根電工 株式会社
---------	--------	---------	-----------

※最優秀成績者（=金賞受賞者）に対して贈呈

特別賞（安全作業大賞）	関東・埼玉県	木 下 貴 博	木下電機 株式会社
-------------	--------	---------	-----------

※（一社）日本電気協会より安全作業面の最優秀者に対して贈呈

情報伝送システム企業へ

平面アンテナ+家庭用ブースター

（オフホワイト）（ライトブラウン）（ブラックブラウン）（スーパーブラック）

地上デジタル放送用UHFアンテナ **DXアンテナ**

UAH810 アースター **UAD1810**

※アンテナ+内蔵タイプはオフホワイト、スーパーブラックの2色展開となります。UAD1810はブラックのみ展開。

業界最多 4カラーバリエーション

省施工+

トップクラスの
高利得 薄さ 小型 軽量化

質量 約14%削減
2.5kg（増幅部）（増幅部）

低雑音

NF 1.5dB以下!

CS/BS-IF・UHFブースター
GCU33L2

※1. 各品型アンテナとの比較/※2. 2014年2月現在、当社調べ。 ※3. 実測値。 ※4. アンテナにおいて、サイトアンテナ型UHFアンテナと比較。 他品型は 約3.5kg

(増幅部)

(電源部)

環境と人にやさしい **DXアンテナ株式会社** www.dxantenna.co.jp

新潟営業所 TEL (025) 276-2166 (代)

〒950-0822 新潟市東区新岡山2丁目1番14号

燕 支 部

良寛様の足跡残る燕地区

皆さん、良寛様を知ってますか？ 大愚良寛、清貧の人、書家、人格者、子供大好き、又最近では、アスペルガー症候群の天才だった。世界一美しい心を持つ菩薩だった。

など様々な捉え方をされておりますが、当燕支部は管内に多くの足跡が残されてあります。寺泊地区 国仙和尚の下、玉島の円通寺での修行を終えて帰国後住んだ空庵跡、郷本海岸、玄徳寺の下、観音堂、今では海中にあり、近くに空庵碑が建立されております。



空 庵 跡

又同じく寺泊新道地内、照明寺観音堂下、密蔵院があり、3回も移住しており境内に多くの歌碑があります。又、茂木弘次氏による良寛座像も安置されてあります。分水地区、有名な国上寺五合庵があり15年間も住んだ所です。その下に59歳～69歳まで10年間過ごした乙子神



密 蔵 院

社、社務所らしき庵があります。老齢にもかかわらず、山を上り下りして托鉢して廻ったのでした。ここでの生活が良寛芸術をより一層円熟させたと言われている。国上山より、弥彦、岩



乙子神社

室、燕、地区に出掛けて各地に多くの歌を読まれたので、数多くの句碑が建立されてあります。それらを巡る旅も良いでしょう。

良寛様の足あとをたどると、とてもやさしい気持ちになれます。どうぞ燕支部管内訪ねて来てください。尋ね言あればお答えします。又、良寛様は野の花を多く愛され草木の歌が多くありますので記します。

- 春 あしひきのこの山里の夕月夜ほのかに見るは梅の花かも
夏 この宮のみ坂にみれば藤波の花の盛りになりけるかも
秋 夕風になびくや園の萩の花なほもこよいの月にかざさむ
冬 笹の葉にふるや霰のふる里の宿にも今宵月をみるらむ

最後に良寛様亡くなる前の歌を記します。

- 貞心尼より 君にかくあい見ることのうれしさも
まださめやらぬ夢かとぞおもふ
良寛より ゆめのようにかつまどろみてゆめを
また かたるも夢もそれがままだ
前々日 宿の老女にわれながらうれしくもあるか
弥陀仏のいますみ国に行くと思へば
前 日 与板山田氏の女の形見乞いにかたみとて
何かのこさん春は花山ほととぎす
秋はもみじば

1月6日午後4時頃74歳で亡くなりました。生活は貧しくとも、人としての恩愛の情を堅持し一生を終焉した人生 あなたは出来ますか。

長岡支部

電池で動くプラモデル工作に 200 人 「わんぱく建築工作まつり」 で業界をPR

去る10月12日、アオーレ長岡で開催された「わんぱく建築工作まつり」に組合は毎年大変な人気を博している「電池で動くプラモデル工作」で参加し、親子連れの小学低学年の子供たちを中心に、電気工事業界と組合を広くPRした。



会場受付の行列

この「建築工作まつり」は長岡市主催の長岡デザインフェア2014のイベントの中のひとつとして行われており、組合は今回で7回目の参加となった。

今回は従来の二日間開催から一日の開催となり、また会場が長岡造形大学からアオーレ長岡に移して行われ、長岡市建設各職連合会の13業種団体が参加した。

組合の出し物は例年、人数制限するほど人気のある「電池で動くおもちゃ工作」2種類を200個用意して臨んだが、午前10時の開場と同時に行列ができ、予定したプラモは午後1時に終了した。

当日は組合のハッピーを着こみ、副理事長と各事業委員長、担当する総務委員会メンバーの8名が出動して、会場設営や受付、工作の作製指導などに当たり、昨年引き続き大変な人気のうちに地域社会との交流が図れた。これをきっかけに参加の小学生や親たちが将来、わが電気工事業界を意識してくれればと期待するものです。

「みんなの防災フェア・ スマートエネルギーフェア」に出展 来場者に光熱費節約診断アンケートと 省エネ・HEMSをPR

テレビ新潟主催による「来て、見て、学ぼう！みんなの防災フェア」と同時開催の「スマートエネルギーフェア」が去る9月20日(土)・21日(日)の2日間、ハイブ長岡において開催され、組合は昨年引き続き出展して来場の一般ユーザーさん等に省エネ・節電商品とHEMSのスマート関連機器などを展示ユニットボードで説明・PRするとともに、東北電力(株)長岡営業所お客さま提案課が「光熱費節約診断アンケート」や「IHクッキングヒーター」を使って料理を提供するなど、一体となって集客を図り電気工事業界をアピールする充実した催し物となった。



おもちゃ工作で奮闘

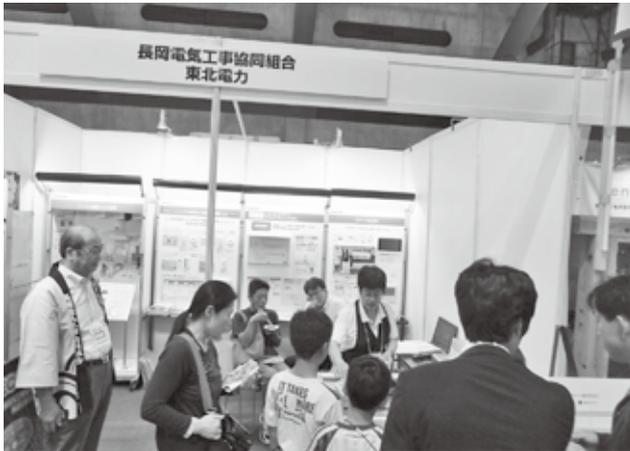
フェア第1日目の午前10時、開会式前には大勢のお客さまが並ぶほどすごい人出となった。オープニングは新潟県警察音楽隊による演奏で始まった。

屋内会場では国はじめ行政機関やメーカー・企業などのブース41個が設置されて、防災用品等の展示・実演・販売が行われた。

このフェアは昨年引き続き、東北電力(株)長岡営業所さんの全面協力により出展したもので、19日の会場設営から本番の両日ともに経営委員会のメンバーが出動して、来場の一般ユーザーさん等に省エネやスマート関連機器を分かり易く丁寧の説明して対応するなど、技術・技能者と

して提案型技術営業の一端を担った。

また、東北電力(株)長岡営業所お客さま提案課がパソコンによる「光熱費節約アンケート」を実施し、節電等のアドバイスを行うとともに、IHクッキングヒーターを使って料理を提供するなど、集客大きな力となった。



IHクッキングヒーターの料理を提供

30数年ぶりに組合員親睦研修旅行を実施 水の有効活用で発電の基礎を研修

今年が目玉事業として掲げた組合員親睦研修旅行は、9月26・7日の2日間に亘って東北電力(株)が建設中の第二藪神発電所と電源開発(株)の奥清津発電所の二ヶ所の施設見学と湯沢温泉に29名が参加して行われ、秋晴れの中を有意義な研修と親睦が図られた。

30数年ぶりに復活した親睦旅行は、昨年からの理事会やブロック会議等で意見を聞きながら検討してきたもので、今回は近隣で研修を兼ねたところということで、水力発電所の施設見学と湯沢温泉に決まったもの。

当日は台風一過の秋晴れの中、貸切バスは午前10時に長岡駅東口を出発し、一路、第二藪神発電所の建設現場に到着。担当者より発電計画の概要などの説明を受けた後、水車を設置する地下25Mの立穴坑に降りるなど経験できない場所を含めて約1時間にわたって見学した。

次に昼食を済ませ、バスは三国峠を目指し、奥清津発電所(OKKY)に到着。係員から水力発

電所としては日本最大級の出力を誇る最新鋭の揚水発電所である旨の説明を、岩石を積み上げたロックフィルダム上で受けた後、第二発電所の地下2階の水車エリアや水路鉄管建設工事で掘削したトンネルに入って、スケールの大きさを体感したりして約1時間30分の研修を終了した。

午後5時前に宿泊先の湯沢ニューオータニホテルに到着、早速、温泉に入り1日の疲れを癒した。そして、午後6時から待望の懇親会が開宴し、湯沢の綺麗どころが華を飾り、2時間にわたる宴会は親睦が充分図られた。

〔東北電力(株)第二藪神発電所〕概要

藪神ダムでは、藪神発電所の使用水量 $30\text{m}^3/\text{s}$ に対し、ダムの上流に位置する電源開発(株)黒又川第一発電所の使用水量 $42\text{m}^3/\text{s}$ と上回っていることから、年間300日以上ダムの放水が生じている。この第二藪神発電所は、このダムの放流による「未使用エネルギーを発電に有効活用」しているもの。最大出力4,500KW、発電方式=ダム式、運転開始=平成28年3月

〔電源開発(株)奥清津発電所〕概要

カッサダムと二居ダム、2つのダムを有し、その間の有効落差(470M)を利用して160万KWもの発電が可能。これは揚水式発電所としては国内2番目の発電量を誇る。夜間の消費電力が少ないときに上池(カッサダム)へ揚水し、昼間の消費電力が大きいときに下池(二居ダム)に水を落とすことで発電を行い、得られた電気は全て首都圏へ送られている。



奥清津発電所

県青年部

平成26年度 移動理事会

県青年部（品田史夫会長）は、11月14日に小千谷市グリーンパークにて移動理事会、各委員会、勉強会を開催し、親会の吉田副理事長、県青年部理事・監事・顧問21名、事務局1名の計23名が出席しました。移動理事会では、議長に齋藤和弘氏（新発田支部）を選出し、下記議案について審議を行いました。

〔移動理事会議案〕

- 第1号議案 収支中間報告について
- 第2号議案 電気系教育・訓練機関の学生、生徒との交流事業について
- 第3号議案 平成27年度以降の移動理事会開催地について



経営・技術委員会



情報委員会



吉田副理事長挨拶



品田県青年部会長挨拶

<委員会>

〔情報委員会議案〕

- (1) 青年部支部間交流親善スポーツ大会（in新津）の反省と次回（in三条）へ向けての意見交換

- (2) 平成26年度事業について〔経営・技術委員会議案〕
- (1) 平成26年度事業について

<勉強会>

「スピーチ勉強会」

～多くの人の前で、しっかり話そう
伝える→感じる あなたの思い！～

移動理事会に続いて、各委員会、勉強会が開催され、終了後は、地元小千谷支部青年部会員の皆様からご参加いただき懇親会を開催し、大いに交流を深めました。

第1回 全国青年部会員大会

11月28日（技能競技全国大会前日）、東武ホテルレバント東京にて第1回全国青年部会員大会が「つながり～全国青年部一本化にむけて～」をテーマに開催され、全国より450名を超えた青年部会員が参加しました。新潟県工組からは県青年部三役正副委員長と事務局の9名が参加しました。

全日電工連青年部 堀口会長による挨拶ののち、第1部青年部活動発表が行われました。

事前に全国各ブロックから「地域貢献活動」「組織活性化活動」「研修活動」の3部門へエントリーされた25事業のうち、最終選考に残った12事業の発表が行われました。



品田会長発表

新潟県工組青年部は9年間継続して開催している「支部間交流親善スポーツ大会」を東北ブロックよりエントリーし、最終選考に残り、当日は2番目に品田会長より発表を行いました。

結果は

- <最優秀賞> 北海道工組札幌支部 児童養護施設
イルミネーション&ライトアップ
- <優秀賞> 兵庫県工組尼崎支部
福祉作業所自立支援事業
- <優秀賞> 長崎県工組
工業高校への技術講師派遣

となりました。

新潟県工組青年部は残念ながら入賞は逃しましたが、他県の青年部の様々な活動を知る重要な機会となりました。

第2部は青年部の恒例となりつつある意見交換会が行われました。この意見交換会から全日電工連理事の方々が合流され、新潟県工組小林理事長も参加されました。



意見交換会

今回の意見交換会は全国青年部一本化を意識した「全国に仲間がいることによるつながり」「業界発展に対する想いを共感するつながり」をテーマに1テーブル6人ずつに分かれ、各テーブルにて活発な意見交換が行われました。

意見交換会終了後は懇親会が開催され、全国の仲間とのつながりをさらに深めました。



新潟県参加者

小千谷支部青年部

青年部経営セミナー

去る平成26年8月29日に、青年部主催にて経営セミナーを開催しました。昨年のセミナーで直接エンドユーザー様に相對するための考え方や手法などを勉強させていただきましたが、今回はより簡単に、すぐに、誰でもできるという点に注力してセミナーを開催しました。講師にはパナソニック株式会社電材営業企画部市場政策推進チームの方に来ていただき、営業手法についてのお話と高機能化している配線器具についてのお話をいただきました。

まず営業手法については、最近よく言われる「農耕型営業」からさらに一步進んで「果樹園型営業」という話がされました。これは作物を「刈り取る」のではなく、果樹というエンドユーザー様の市場を育てて、そこで何度も何度も果実を収穫できる、リピートしてもらえらる仕組みを作りましょう、ということでした。その中で、名刺の作り方の工夫やニュースレター

作成時のコツなどを教えていただきました。また、最近のweb社会に合わせてのyoutubeやFacebookを利用したの宣伝効果などについてもお話を聞きました。

次に最近の高機能化している配線器具についての説明をいただきました。なぜ配線器具なのか。それはエンドユーザー様が普段最も多く接する電気設備であり、またそれでいて導入が最も簡単で安価に済むものだからです。暮らしの「ここを何とかしたいんだけどな…」を配線器具の取替によって解決できればエンドユーザー様と良い関係が築けるのでは、と考えました。リモコン対応している配線器具や、スマートフォンのスワイプのように操作するスイッチの説明などがありました。

こうして得た知識を青年部ならではの柔軟性を以て、今後のエンドユーザー様との関係構築に役立てて行きたいと考えます。



柏崎支部青年部

レクリエーション兼忘年会

柏崎支部青年部では夏の終わりから年内中に教養研修会兼納涼会、耐圧試験、ボランティア、レクリエーション兼忘年会を行っております。

今回は12月6日（土）に行われたレクリエーション兼忘年会をご紹介します。

もう何年になるのでしょうか、レクリエーションではボウリング大会を行い一人3ゲームの合計得点を競いそのあと行われる忘年会にて表彰式が行われます。



日頃仕事では見られない皆様方の笑顔やボウリングの技術、そんなところを垣間見ながら、みんな楽しい時間を過ごし、コミュニケーションを深めております。

そんな中で人と人がつながり、そして明日からの仕事にも反映されていく、そんな有意義な活動の一つであると確信しております。

今後もやる時はやる！楽しむ時はとことん楽しむ！そんな会を継続・発展し、これからの若い世代が楽しそう！面白そう！と思って電気工事業界にも興味を持っていただき、明るい業界に発展していくきっかけに少しでも力になればという思いを込めながら、柏崎支部青年部は丸となって活動していきたいと考えております。



毎年問屋さんから豪華景品を提供していただき、青年部からも参加者全てに行き渡る数の景品を用意しております。

青年部だけでなく問屋さん、事務局の方々もお招きして豪華景品を目指して競い合っていたいております。

今年は上位3位とブービー・ブービーメーカーは景品が決められていて、その他の方は上位から順にくじをひいてその番号の景品をGETする方式で進められました。

高価なものや実用性のあるものから絶対に使わないでしょうというものまで様々な景品が用意され、表彰式は景品に対してのツッコミやリアクションで非常に盛り上がります。



上越支部 青年部

高田開府400年祭を終えて

上越支部の活動地域は戦国時代には長尾景虎（上杉謙信）に代表される長尾氏（上杉氏）が春日山城を居城としたため城下町として盛えました。そして江戸時代に徳川家康の六男・松平忠輝公の居城である高田城の城下町が開かれた1614（慶長19）年から本年はちょうど400年に当たり、高田開府400年を「新たなまちづくりのスタートの年」と捉え、市民一人ひとりが地域への自信と誇りを持って全国に上越市の魅力を発信することを目的として、去る7月5日・6日に高田開府400年祭が開催されました。

青年部では建築士会をはじめとするボランティアで約3,000本のリサイクルペットボトルを使用して制作した高田城三重櫓のモニュメントに40W形LED蛍光灯24本を設置しモニュメントをライトアップし彩りました。また、高所作業車を使用して1927年（昭和2年）に記録した過去最高の積雪深さ 8 m18cmを体験して頂きました。

両日とも天候に恵まれて、子供からお年寄りまで多くの方々が会場に足を運んでいただき、高所作業車乗車体験においてはたくさんの方が体験され、初めは怖がっていましたが会話をしながら上がっていくと怖さも無くなったようで、

景色を見渡したり写真を撮ったり楽しんでいただけました。

この400年祭を通じて青年部が一丸となって協力し祭典の成功を目指し、また一般市民の皆様と交流を交え、電気工事業を知って頂くことが出来ました。



先進技術による 配電盤と電気工事



東港工場



三浦電機株式会社

代表取締役 小名隆一

本 社 新潟市東区錦町1-18 TEL (025) 274-0381
FAX (025) 274-0385
柏崎営業所 柏崎市三和町3-40 TEL (0257) 24-3739
東 港 工 場 新潟市北区島見町3399-10 TEL (025) 255-4201

第28回

消防設備保安功労者表彰

去る10月17日、第28回新潟県保安大会表彰式が新潟県庁講堂で挙行された。

表彰式では、当工組から消防設備保安功労者として監事の小名隆一氏が、地域社会における消防設備並びに火災報知機等の普及推進と、消防設備に係る安全保安管理体制の充実に尽力した功績により、新潟県知事から表彰された。

▼第28回 消防設備保安功労者表彰



三浦電機 株式会社
代表取締役

小名 隆一 氏
(新潟支部)

平成26年度

消防設備保守関係者表彰

去る11月4日、平成26年度の消防設備保守関係者等表彰式が、東京都港区明治記念館で挙行された。

表彰式では、当工組から消防設備保守関係者として株式会社横田電設 代表取締役の横田征英氏が、地域社会における非常用予備発電設備及び消火器等の一般普及、並びに消防設備に係る安全保安管理体制の充実に尽力した功績により、一般財団法人 日本消防設備安全センター 理事長から表彰された。

▼平成26年度 消防設備保守関係者表彰



株式会社 横田電設
代表取締役

横田 征英 氏
(上越支部)

第22回

優秀施工者新潟県知事表彰

去る11月10日(月)、第22回優秀施工者新潟県知事表彰の表彰式が新潟県庁講堂で行なわれ、施工成績が特に優秀な施工者が表彰された。

当組合より、第一電設工業株式会社 相田修氏が電気設備工事の施工管理が優秀であるとして表彰された。

▼第22回 優秀施工者新潟県知事表彰



第一電設工業 株式会社
工事部
管理課 係長

相田 修 氏
(新潟支部)

新潟県電気工事工業組合担当による 第一種電気工事士定期講習の開催について

新潟県電気工事工業組合担当による第一種電気工事士定期講習を下記により開催します。

新潟県電気工事工業組合が所属する『(一財)電気技術者試験センター』にご登録していただいている方につきましては、受講時期に合わせてご自宅へ「講習申込書」と「会場一覧表」が郵送されます。ご登録いただいていない方にはご案内がいきませんので必要な方は当団体に登録をお願いいたします。

【問い合わせ先】 新潟県電気工事工業組合

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通 6-1203 TEL 025-229-1587



平成26年度 第一種電気工事士定期講習会開催

開催日	会場
平成27年 2月19日(木)	新潟ユニゾンプラザ
2月24日(火)	燕三条地場産センターメッセピア

受付中!!

組合員の皆様へ

平成27年4月・5月期限の方には2月上旬申込用紙が発送されますが、その中の講習日程案内には上記の日程は記載されておりません。

なるべく新潟県電気工事工業組合受付の講習会を受講していただけるよう
ご協力お願いいたします。

→ 2月ご希望の方は申込書希望日記載欄に上記日程を記入下さい。宜しくお願いいたします。

平成27年度 第一種電気工事士定期講習会開催 (予定)

開催日	会場
平成27年 4月13日(月)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
6月5日(金)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
8月3日(月)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
10月28日(水)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
11月17日(火)	燕三条地場産センターメッセピア 5階 総合研修室
平成28年 2月4日(木)	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室

■新潟ユニゾンプラザ 新潟市中央区上所 2-2-2 TEL 025-281-5511

■(財)燕三条地場産業振興センター メッセピア 三条市須頃 1-17 TEL 0256-32-2311

組 合 員 の 異 動

平成26年 9 月～平成26年12月理事会承認分

日 付		支 部	
H26.8.31	脱 退	柏 崎	(有)石黒電気
H26.12.17	譲 渡	三 条	高橋商店→(有)サトー電機
H26.12.17	譲 渡	燕	(有)恵電社→ケイデンシャ
H27.3.31	脱 退	新 潟	大谷電気工事
H27.3.31	脱 退	新 潟	カトウ・サイン工業(株)
H27.3.31	脱 退	新 潟	藤電気商会
H27.3.31	脱 退	村 上	高橋電機商会
H27.3.31	脱 退	三 条	廣瀬電気工事店
H27.3.31	脱 退	燕	マツカワ電気
H27.3.31	脱 退	長 岡	星電機
H27.3.31	脱 退	小千谷	(株)佐藤電機商会
H27.3.31	脱 退	小千谷	め組電工(株)
H27.3.31	脱 退	上 越	ライト・アップ
H27.3.31	脱 退	魚 沼	タイセイ電気

組 合 員 の 変 更

平成26年 9 月～平成26年12月組合提出分

支 部	事 務 所	変更箇所	変 更 前	変 更 後
新 潟	浅井電気商会	住 所	〒950-0946 新潟市中央区女池3丁目39-10	〒950-1101 新潟市西区山田2701-1
		T E L	0 2 5 - 2 8 0 - 9 6 3 8	0 2 5 - 3 7 8 - 4 3 5 8
		F A X	0 2 5 - 2 8 0 - 9 6 3 9	0 2 5 - 3 7 8 - 4 3 5 9
	交信電気(株)	代表者	小野塚 清 安	小野塚 哲 英
	東新興業(株)	住 所	〒950-0905 新潟市中央区天神尾2丁目7-10	〒950-0814 新潟市東区逢谷内3丁目533-1
		T E L	0 2 5 - 2 4 3 - 0 9 2 0	0 2 5 - 2 7 1 - 0 9 2 0
F A X		0 2 5 - 2 4 3 - 0 8 9 7	0 2 5 - 2 7 1 - 0 9 6 5	
村 上	高橋電機商会	代表者	高 橋 幸 男	高 橋 市 子
三 条	渡辺電業舎	F A X	0 2 5 6 - 4 6 - 2 6 0 8	0 2 5 6 - 4 6 - 8 1 2 1
燕	(有)さくら電機商会	代表者	高 畑 二 一	高 畑 拓 也
長 岡	昱工業(株) 長岡支店	代表者	諸 橋 市 郎	吉 田 敏 晴
小千谷	(株)魚沼電子	代表者	宮 川 久 夫	猪 俣 光 夫
柏 崎	戸 田 電 気	住 所	〒945-1117 柏崎市大字宮窪4940	〒945-1117 柏崎市大字宮窪4904
魚 沼	坂西電気店	代表者	坂 西 隆 行	坂 西 誠
佐 渡	(有)三浦電気	住 所	〒952-0108 佐渡市上新穂664-4	〒952-0114 佐渡市下新穂482-1



企業繁栄と

= 豊かなセカンドライフへの橋渡し =

東北七県電気工事業に従事する方々の
よりよい福祉の向上を目指す。

東北七県電気工事業厚生年金基金

理事長 小林 功

〒984-0074 宮城県仙台市若林区東七番丁 157 番地

TEL 022-221-4415 FAX 022-224-6843

編集発行：新潟県電気工事工業組合

〒951-8068

新潟市中央区上大川前通6番町1203番地

<管理部門> TEL 025(229)4101

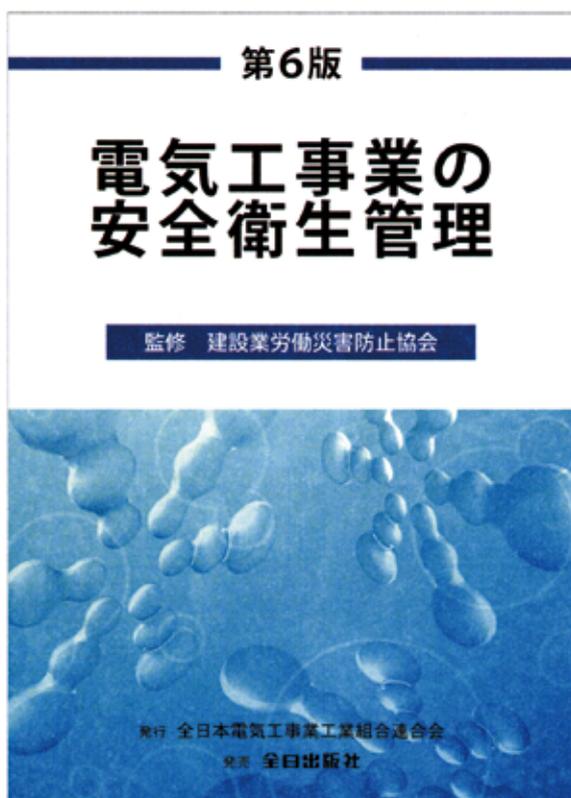
<資材部門> TEL 025(229)1586

印刷：株式会社 大創

レイアウトを一新して6年ぶりに発行

電気工事業の安全衛生管理 第6版を発売

安全安心な作業環境の構築、作業員の健康管理、災害の防止など、多岐にわたる施策が実施されています。それらの最新データを反映して、電気工事業に携わるすべての方の安全衛生を考える必携の一冊です。



発行 全日本電気工事業工業組合連合会

B5判 336頁
定価 (本体 3,500円+税)

改訂のポイント

- 特定健康診査、特定保健指導を追加。
- 労働安全衛生規則（足場関係）の改正に伴い内容を一部改訂。
- 「手すり先行工法等に関するガイドライン」が策定されたため、この内容に沿った新しい項目を追加。
- 事務所衛生基準規則を図表から文章に変更し、より詳細な内容に改訂。
- 救急蘇生法の内容を、「JRC（日本版）ガイドライン2010」に準じた内容へ改訂し、AEDによる心肺蘇生法の内容も大きく改訂。
- 熱中症に関する項目を追加。
- リスクアセスメントの内容を一新。

お問い合わせは当社まで

ZNS 全日出版社

〒151-0066 東京都渋谷区西原3-32-6-202
TEL 03-3469-2730 FAX 03-3466-6186
<http://www.zns.co.jp>